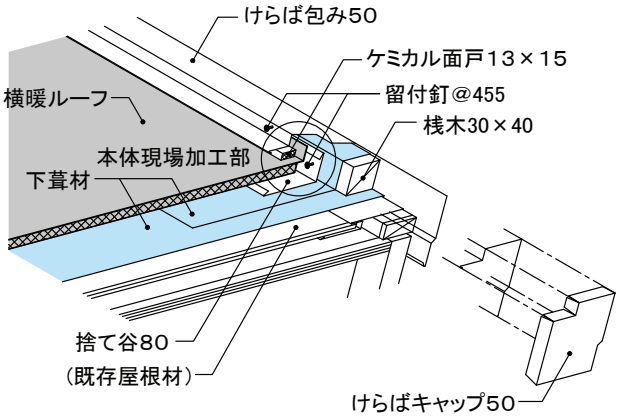
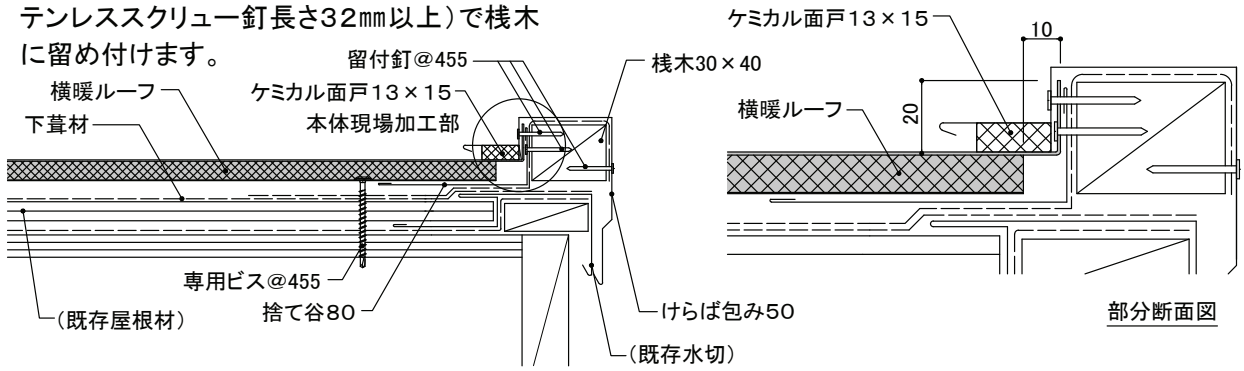
横暖ルーフ

工法	既存屋根材
重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

4）けらば部　②けらば包み50

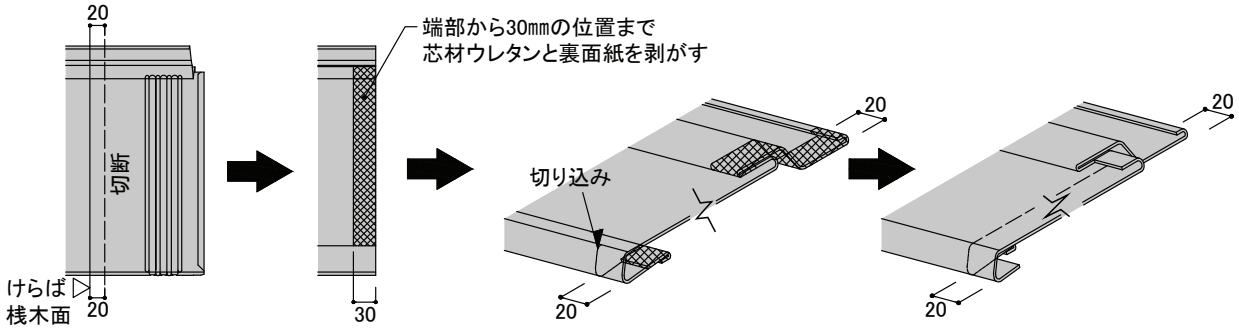
●下葺材は既存水切にかぶせて既存屋根材の上に張ります。
●けらば部に桟木30×40を取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。
●捨て谷80は留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて455㎜以下の間隔で桟木に留め付け、けらば部に図のように現場加工した横暖ルーフ本体を施工します。
●本体の図の位置にケミカル面戸13×15を貼り付け、けらば包み50をかぶせるように施工し、留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）で、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けます。
●軒先端部の仕上げはけらばキャップをリベットでけらば包みに留め付けるか、留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）で桟木に留め付けます。



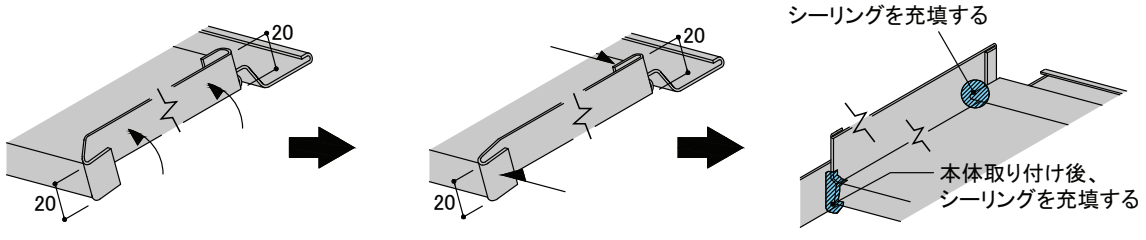


部分断面図

■施工ポイント・現場加工図
●横暖ルーフ本体のけらば部分は、図のように加工します。



①けらば桟木面から図の寸法で切断します。
②網掛け部分を切り落とします。



③切り込みを入れた部分から垂直に起こします。
④Rの部分をつぶします。
⑤接合部からの雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填します。